

ありがとうございます
安心・安全な生活をサポートする
朝日工業グループ

2015年度第2四半期 累計期間のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

証券コード5456 東京証券取引所 JASDAQ



ごあいさつ

「着実な歩み」

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社の事業活動に関しましては、平素より一方ならぬご支援とご高配を賜り、深く感謝いたしております。

当初お約束しましたとおり、上期については右のページにありますように、黒字を達成することができました。この期間においては、需要期に向けた情報収集、新商品のPR、試験栽培の促進など、地道な活動を重ねてまいりました。職場では、前向きな意見や活発な議論が聞かれるようになるなど、業績の回復に伴い従業員に活気が戻っております。

このように、上期はまずまずの状況でありましたが、下期は、今後の需要見通しが不透明ななか、鉄鋼・農業ともに厳しい事業環境が予想されています。目標達成への強い覚悟のもと、本格的回復と認めていただけるようステップ・バイ・ステップで前進してまいります。

最後に、誠に申し訳ございませんが、中間配当につきましては見送らせていただきます。当社は、前会計年度に続き利益を計上しており、引き続き回復基調にありますが、2013年度の連結業績において2期連続の営業損失ならびに4期連続の当期純損失となったことなどから、2014年度に引き続き、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。従いまして、株主のみなさまには大変ご迷惑をお掛けしますが、かかる状況について何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては、復配に向けて、最大限の努力をする所存でございます。

株主のみなさまには、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 村上 政徳



2015年度上期業績

■ 鉄鋼建設資材事業

前年度は雪害の影響があり販売数量が減少しましたが、操業再開以降受注していた土木工事物件が今期に入り順次出荷されるとともに、需要にあった受注活動に努めた結果、前年同期と比べ販売数量が増加し、増収となりました。利益面では、コストダウン活動の効果に加え、鉄スクラップ価格が第2四半期に入り大幅な下げ基調となる中、製品販売価格の可能な限りの維持を図ったことで、原料価格の低下が製品販売価格の低下を吸収し、製品販売価格と鉄スクラップ価格との値差（メタルスプレッド）が拡大したことから、前年同期と比べ増益となりました。

この結果、上期業績は、売上高は10,740百万円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は778百万円（前年同期はセグメント損失431百万円）となりました。

■ 農業資材事業

肥料事業では、前年同期は消費税増税による前倒し出荷の反動による落ち込みがあったため、上期は、前年同期と比べ増収となりました。また、家畜糞等の堆肥を原料とした「エコレット」の販売も拡大しました。園芸事業では、需要期である第1四半期中はホームセンターへの企画提案が採用され販売が拡大しましたが、第2四半期中の天候不順が影響し、前年同期並みの売上高となりました。

種苗事業では、大玉トマトが競争激化の影響を受けて苦戦を強いられたことから、前年同期と比べ減収となりました。

乾牧草事業では、販売数量は前年同期並みとなりましたが、円安の影響により、販売単価が上昇したことから、前年同期と比べ増収となりました。

この結果、農業資材事業の上期業績は、売上高は5,813百万円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は230百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

■ 環境ソリューション事業

民間受注は堅調に推移しましたが、官公庁受注が前年同期を下回ったことから、前年同期と比べ減収となりました。

この結果、上期業績は、売上高246百万円（前年同期比18.0%減）、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント利益5百万円）となりました。

■ 砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、アスファルト合材向けの販売が増加したことから、前年同期と比べ増収となりました。一方、マテリアルリサイクル事業では、エリア内の解体物件の減少により、がれき類の集荷量が前年を大きく下回りました。

この結果、上期業績は、売上高は977百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期比57.6%減）となりました。

以上の結果、上期の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高48百万円を差引き、17,801百万円となり、営業利益は、上記各セグメント別利益または損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計430百万円を差引き、578百万円となりました。

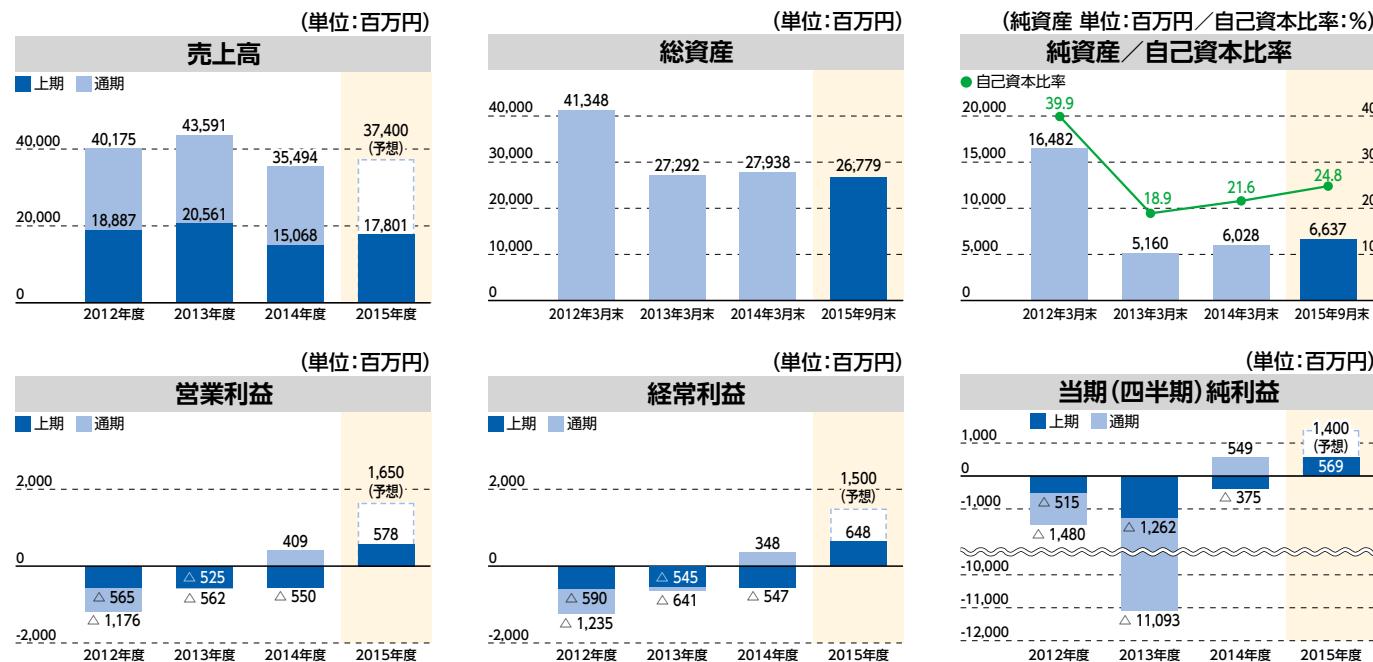
財務ハイライト

営業成績および財産の状況の推移(連結)

(単位:百万円)

		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
		[上期]	[通期]	[上期]	[通期]	[上期]	[通期]	[上期]	[通期予想]
売上高	百万円	18,887	40,175	20,561	43,591	15,068	35,494	17,801	37,400
営業利益	百万円	△ 565	△ 1,176	△ 525	△ 562	△ 550	409	578	1,650
経常利益	百万円	△ 590	△ 1,235	△ 545	△ 641	△ 547	348	648	1,500
当期(四半期)純利益	百万円	△ 515	△ 1,480	△ 1,262	△ 11,093	△ 375	549	569	1,400
総資産	百万円	39,418	41,348	36,630	27,292	27,137	27,938	26,779	—
純資産	百万円	17,451	16,482	15,040	5,160	4,993	6,028	6,637	—
自己資本比率	%	44.3	39.9	41.1	18.9	18.4	21.6	24.8	—
1株当たり当期(四半期)純利益	円	△ 73.64	△ 211.48	△ 180.31	△ 1,584.79	△ 53.57	78.52	81.42	200.00
1株当たり純資産額	円	2,493.10	2,354.67	2,148.62	737.18	713.41	861.20	948.22	—

※当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。2012年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産額」を算定しております。



財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年 3月31日現在	当第2四半期末 2015年 9月30日現在
資産の部		
流動資産	14,849	13,688
現金及び預金	1,501	3,098
受取手形及び売掛金	5,671	3,622
たな卸資産	7,358	6,734
その他	321	234
貸倒引当金	△ 3	△ 1
固定資産	13,088	13,090
有形固定資産	10,620	10,445
建物及び構築物	3,344	3,257
機械装置及び運搬具	3,817	3,729
土地	2,678	2,678
建設仮勘定	6	8
その他	773	771
無形固定資産	193	196
投資その他の資産	2,274	2,448
投資有価証券	2,046	2,240
その他	229	209
貸倒引当金	△ 1	△ 1
資産合計	27,938	26,779

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年 3月31日現在	当第2四半期末 2015年 9月30日現在
負債の部		
流動負債	16,638	14,524
支払手形及び買掛金	5,626	4,394
短期借入金	7,245	5,920
1年内償還予定の社債	120	90
1年内返済予定の長期借入金	1,434	1,714
未払法人税等	77	57
賞与引当金	135	180
未払金	1,456	1,343
その他	544	824
固定負債	5,271	5,616
社債	90	60
長期借入金	3,623	4,026
繰延税金負債	513	543
退職給付に係る負債	722	694
その他	321	292
負債合計	21,909	20,141
純資産の部		
株主資本	5,361	5,931
資本金	2,190	2,190
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	1,662	2,232
自己株式	△ 293	△ 293
その他の包括利益累計額	667	706
その他有価証券評価差額金	354	423
為替換算調整勘定	131	103
退職給付に係る調整累計額	181	179
純資産合計	6,028	6,637
負債純資産合計	27,938	26,779

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期 累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	15,068	17,801
売上原価	12,732	14,090
売上総利益	2,336	3,710
販売費及び 一般管理費	2,886	3,131
営業利益	△ 550	578
営業外収益	124	202
営業外費用	121	132
経常利益	△ 547	648
特別利益	464	2
特別損失	257	25
税金等調整前 四半期純利益	△ 340	625
法人税、住民税及び 事業税	37	59
法人税等調整額	△ 3	△ 3
四半期純利益	△ 375	569

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期 累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,899	2,594
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 476	△ 263
財務活動による キャッシュ・フロー	1,564	△ 727
現金及び現金同等物に かかる換算差額	2	△ 6
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 809	1,597
現金及び現金同等物の 期首残高	2,640	1,501
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,830	3,098

村上社長が就任のあいさつを兼ねて海外のパートナーを訪問し、一層の協力を確認しました。

朝日工業の豪州合併企業 ジョンソン朝日 Pty.Ltd. (ジョンソン朝日)

2015年9月、乾牧草の生産・輸出を行うジョンソン朝日は、設立20周年を迎えました。完全なトレーサビリティ、成分分析、X線検査などによる厳しい品質管理により、日本を始め、各国から大きな信頼を得ています。今後とも、豪州側パートナーであるJ.T. ジョンソン&サンズと共に、豪州における輸出乾牧草トップシェアを維持し、世界市場を視野に発展してまいります。



オランダ大手種苗会社との協力推進

私たちは、世界有数の研究開発レベルと徹底した品質管理を誇るオランダの大手種苗会社と、病気に強い野菜品種の共同開発を行っています。野菜の品種開発において世界トップレベルの実力を有する同社と協力し、耐病性はもちろんのこと、更においしい品種を開発し、生産者のみなさまに提供することによって、日本の農業に貢献してまいります。



朝日工業の中国合併企業 萊陽龍大朝日農業科技有限公司 (龍大朝日)

日本と同様、食の安全への意識が高まっている中国のニーズを捉え、当社は、豊田通商と龍大食品集団と合併で有機質肥料事業を展開しています。朝日工業の製造技術指導により、地元で発生する有機原料を利用して製造された、環境に優しく確かな品質の有機質肥料は、土壌診断に基づく営業活動で販売を拡大しています。龍大朝日は、これからも良質な有機質肥料を提供し、事業拡大を目指してまいります。



- 商号 朝日工業株式会社
- 本社 〒170-0013
東京都豊島区東池袋三丁目23番5号
Daiwa東池袋ビル
- 創立 1935年 8月16日
- 設立 1991年10月29日
- 資本金 2,190百万円
- 従業員数 411名(グループ 500名)
- 事業所

本社	〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル TEL(03)3987-2161
埼玉事業所	〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2711
埼玉工場 (鉄鋼)	〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2713
関東工場 (肥料)	〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-2712
千葉工場 (肥料)	〒289-0506 千葉県旭市さくら台1-13 TEL(0479)68-1600
大阪事業所 (肥料)	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル TEL(06)6311-6215
関西工場 (肥料)	〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口6776 TEL(0748)62-8171
生物学 研究所	〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-6339
神川農場	埼玉県児玉郡神川町大字新里字東北原863-2
農業相談室	〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222 TEL(0274)52-6462

- 取締役および監査役
- 代表取締役社長 村上 政徳 取締役 稲場 進
- 常務取締役 中村 紀之 取締役(社外) 田島 伸一
- 常務取締役 町田 尚輝 監査役(常勤) 田島 一郎
- 常務取締役 矢口 誠 監査役(常勤) 佐藤 光
- 取締役 広瀬 清 監査役(社外) 村田 恒
- 取締役 佐藤 真 監査役(社外) 新垣 良爾

関係会社

株式会社環境科学コーポレーション

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル
TEL(03)3987-2182

株式会社上武

〒369-1601 埼玉県秩父郡皆野町金沢3085-1
TEL(0494)62-1321

株式会社ティ・アンド・アイ

〒367-0301 埼玉県児玉郡神川町渡瀬222
TEL(0274)52-6411

ジョンソン朝日Pty.Ltd.

119 Plumpton Road
Horsham, VIC3400, Australia

株主優待制度のご案内

	優待内容	
	通常株主優待	長期保有株主優待 (1年以上保有の株主様)
100株以上200株未満	お米券(4枚)	クオカード(500円分)
200株以上300株未満	お米券(8枚)	クオカード(1,000円分)
300株以上500株未満	お米券(12枚)	クオカード(1,500円分)
500株以上	お米券(16枚)	クオカード(2,000円分)

※株主番号が変更になった場合は継続保有となりません。(以下の場合など)
①取り扱い証券会社の変更 ③証券会社の貸株サービスの利用
②全所有株式売却後の買い戻し ④相続などによる株式名義人の変更





〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル
TEL: (03) 3987-2161 FAX: (03) 3987-5326
URL: <http://www.asahi-kg.co.jp/> E-mail: asahikg@asahi-kg.co.jp



この印刷物は環境に配慮し、森林認証紙と、地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用し水なし印刷方式を採用しています。